

断層

大野小学校

TEL 54-0409

土の中の水道管
高いビルの下の下水
大事なものは表に出ない
みつを



『秋の日暮れはつるべ落とし』といったことわざにあるように、最近では日暮れが早くなってきました。それとともに、朝夕の冷え込みもより強く感じるようになり、子供たちの服装も冬服へと衣替えが進んでいます。日中は気持ちのよい秋晴れの日が続き、子供たちも休み時間には運動場で元気に遊んでいる姿が見られますが、九月下旬頃からインフルエンザが本校でも流行を始めています。学校では手洗いの徹底や換気などの感染予防対策に努めているところですが、十一月には大野っ子発表会を計画していることから、子供たちの体調管理には十分配慮していきたいと考えています。

さて、十月下旬は「二十四節気」の中で「霜降」(そうこう)と言われる時季にあたります。「節気」とは気候の変わり目のことで、「霜降」は「立冬」前の霜が降り始める時季のことです。この気候の変わり目の時季は子供たちにとって体調管理が難しいときであり、心理的にもなんとなく不安定になりがち傾向が見られるときです。二学期は、行事や活動が多くいろいろなことにチャレンジできる機会が多い反面、気持ちの切り替えが難しいのかもしれない。きつと子供たちの目に見える表面上の成長と目に見えない心の成長の速さは同じではないでしょう。

冒頭の詩は相田みつをさんの詩ですが、本当に大切なものは何かを考えさせられる詩だと思えます。本校の教育においても、子供たちの成長を表面上だけで捉えるのではなく、見えない部分(心)の成長をしっかりと支えていきたいと考えています。

人権参観日



十月十一日(水)の人権参観日には、大変多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。



今回の参観授業は、「人権」をテーマとした内容で、学年の発達段階に応じた内容を取り上げての授業でしたが、いかがだったでしょうか。

子供たちにとって「人権」とは、抽象的で分かりにくいものです。そのため、具体的な生活場面と関連させたり、考えを交流する場面を取り入れたりする授業だったと思います。人と人がよりよい関わり方をするためには何が大切なのかを学んで欲しいと思っています。

この日の授業内容が、今後の日常生活に生かされるように、教職員も子供たちとの関わりを深めていきたいと考えています。ぜひ、各家庭でもお子様と参観授業で学習したことを振り返る機会をもってほしいと思います。

※この日、学年閉鎖で実施できなかった二年生の参観授業及び学級懇談につきましては、十一月二日(木)の五校時(授業参観)及び六校時(学級懇談)に予定しています。



人権講演会

「子どもの気になる行動を減らすために」家庭でできること

鏡野町後場子育て支援課
臨床心理士 三上仁志先生



十月十一日、人権参観日に開催したPTA主催の人権講演会では、三上仁志先生を講師にお招きし、子育てに関するお話をいただきました。

内容は、子供たちの睡眠時間と脳の働きに焦点を当てたものでとても分かりやすいお話でした。適切な睡眠時間の確保が子供たちの脳を健全に育て、気になる行動を減らすことにつながっていくということです。適切な睡眠時間の確保には家庭の協力が必要です。現在は昔と比べ、働き方が多様化し、各家庭の生活環境も様々ですが、子供たちが心身共にすくすくと成長できるようにご協力をお願いいたします。

陸上指導(四・五・六年生)

池田晃先生 お世話になりました



本年度も池田晃先生を講師に招いて、ハードル走の指導を受けました。

池田先生の指導は三年目になり、子供たちも楽しみにしています。先生は、子供たちに陸上運動の楽しさを伝えようと、様々な場づくりの工夫や一人一人への声かけを工夫されるので、子供たちも意欲的に取り組むことができています。また、一緒に指導している教員にとってもその指導法について学ぶ点が数多くあります。



稲こぎ(脱穀)体験(五年生)

十月六日(金)、五年生が、にこにこクラブの皆さんの指導のもと、稲こぎ体験しました。

千歯こぎや足踏み脱穀機、コンバインを使った脱穀に挑戦しました。子供たちは、昔の人たちの苦労や機械の便利さを肌で感じることができ、貴重な体験となりました。

にこにこクラブの皆様方には、今年度も、田植え、いいそない、稲刈り、脱穀と、昔ながらの農作業を体験させていただき心より感謝しています。ありがとうございました。

また、脱穀後の粉すりも、例年通り比翼さんのところでした。本当にありがとうございました。

